

【講演】

目からウロコの《超簡単》情報活用講座

一人に伝える・人と繋がる・人と学ぶー

■14:00~15:30 三島市民生涯学習センター 3階 講義室

仁上幸治 (早稲田大学図書館)

【0】イントロ

- ・デジカメ動画
- ・米国図書館協会 (ALA) ポスター
- ・インターネットと図書館

【1】探す

- ・図書館
- ・インターネット情報源
- ・ポータルサイト
- ・図書の情報

【2】伝える

- ・スライド
- ・プレゼンテーション
- ・メモ帳
- ・ペイント

【3】繋がる

- ・電子メール
- ・ホームページ
- ・ブログ
- ・メーリングリスト
- ・ブリーフケース

【4】作る

- ・チラシ
- ・会誌
- ・メルマガ
- ・レポート
- ・論文
- ・自分史

【5】学ぶ

- ・メーリングリスト
- ・質問と回答
- ・ファイルの共有
- ・成果の発表

【6】まとめ

* 配布資料解説

- 資料1: 参考文献
- 資料2: 参考サイト一覧
- 資料3: 講師紹介 (最近の活動から)
- 資料4: 『情報の達人』パンフレット

* 質疑応答

* アンケート

■使ったサイト

- ・三島市立図書館：<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/index.shtml>
- ・Google：<http://www.google.co.jp/>
- ・野口悠紀雄オンライン：<http://www.noguchi.co.jp/>
- ・アリアドネ：<http://ariadne.ne.jp/>
- ・実践女子大学図書館リンク集：<http://www.jissen.ac.jp/library/>
- ・紀伊國屋書店：<http://www.kinokuniya.co.jp/>
- ・『情報の達人』：<http://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>
- ・Kinokuniya BookWeb：<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>
- ・脳を活性化する自分史年表(愛蔵版)：
<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/htm/4931178545.html>
- ・Amazon.com：<http://www.amazon.co.jp/>
- ・国立国会図書館：<http://www.ndl.go.jp/>
- ・国立情報学研究所：<http://www.nii.ac.jp/>

■使ったソフトウェア

- ・ペイント： スタート>アクセサリ>ペイント
- ・Microsoft Office Online 早わかりガイド：<http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx>
- ・トレーニング：Office Online 無償トレーニング コース：
<http://office.microsoft.com/ja-jp/training/default.aspx>
- ・Office 2003 トレーニングコース >> Word 2003 >> グラフィックを追加して配置する
- ・Microsoft Office WORD 2003：
<http://www.microsoft.com/japan/office/previous/2003/word/prodinfo/default.msp>
- ・Microsoft EXCEL 2003： Office 2003 トレーニングコース >> Excel コース >> グラフ I: グラフの作成方法
- ・Excel コース >> 基礎から学ぶ Excel 2003 入門 >> グラフの作り方
- ・Microsoft PowerPoint：Office 2003 トレーニングコース >> PowerPoint 2003 >> 初めてのプレゼンテーション作成：
<http://office.microsoft.com/ja-jp/training/CR061832731041.aspx>
- ・メモ帳： パソコン用語 - メモ帳とは：<http://support.microsoft.com/kb/878597/ja>
- ・プリントスクリーン： [PrintScreen]

- ・アクティブ画面コピー:[Alt]+ [PrintScreen] >> Paint 上にコピー & ペースト
- ・ペイントペイントで画像加工: スタート>アクセサリ>ペイント
- ・ペイントを使用して画像ファイルを編集するには:
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;879768>
- ・YahooJapan: <http://www.yahoo.co.jp/>
- ・Yahoo グループ: <http://groups.yahoo.co.jp/>
- ・Yahoo!グループヘルプ: <http://help.yahoo.co.jp/help/jp/groups/>
- ・ブリーフケース: <http://help.yahoo.co.jp/help/jp/groups/files/>
- ・Yahoo!グループ > ヘルプ > ブリーフケース機能ヘルプ >
- ・ブリーフケース機能とは: <http://help.yahoo.co.jp/help/jp/groups/files/files-12.html>
- ・『情報の達人』: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)
<http://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>
- ・Yahoo!グループ > チュートリアル:
<http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/index.html>
- ・メーリングリスト: <http://groups.yahoo.co.jp/>
<http://groups.yahoo.co.jp/local/promotions/login/index.html>
- ・Yahoo!グループの使い方をもっと詳しく知りたい方は
<http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/index.html>
- ・メーリングリストの活用法: <http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/list3.html>
- ・自分たちのグループを作ろう:
<http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/start1.html>
- ・ブリーフケース: <http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/briefcase.html>
- ・写真を共有しよう: <http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/photos.html>
- ・スケジュールを共有しよう: <http://groups.yahoo.co.jp/local/info/guide/main/calendar.html>
- ・Office IME 2007 または IME 2003 で入力することが多い単語を登録する方法:
<http://support.microsoft.com/kb/881295/ja>
- ・[M_IE] お気に入りのバックアップ方法: <http://support.microsoft.com/kb/828621/ja>

■資料 1 : 参考文献

●図書館利用教育

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.

●情報リテラシー教育

- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会, 2002, ¥1,200(本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ: 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版, 2002.4(CD-ROM 付)
- ・北尾謙治[他]『広げる知の世界—大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房, 2005.5, ¥1,600
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.

●調べ方

- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店, 2004.(ちくま新書) ¥777
- ・大串夏身『チャート式情報アクセスガイド』青弓社, 2006. ¥1600.-
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店, 2003.(岩波ジュニア新書) ¥777
- ・時実象一『理系のためのインターネット検索術: ホンモノ情報を素早くみつける』講談社, 2005.2(ブルーバックス) ¥840
- ・時実象一, 小野寺夏生, 都築泉『情報検索の知識と技術—情報検索応用能力試験 2 級対応テキスト』情報科学技術協会, 2007.5, ¥2500.
- ・藤田節子『キーワード検索がわかる』筑摩書房 2007.10(ちくま新書) ¥756.

●情報検索の教科書

- ・情報科学技術協会編『情報検索の演習 CD-ROM 版』新訂版日外アソシエーツ, 2003.
- ・高敏裕樹『デジタル情報資源の検索 増訂版』京都大学図書館情報学研究会, 2007.4
- ・原田智子 他『情報検索演習』3 訂, 樹村房, 2006.(新・図書館学シリーズ, 6)
- ・緑川信之『情報検索演習』新訂, 東京書籍, 2004.
- ・三輪真木子『情報検索のスキル—未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003.9(中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法—調査・レポート・論文必携』第 2 版, 日本図書館協会発売 2006.

●インターネット

- ・野口悠紀雄『インターネット超活用法 2001』講談社, 2001, ¥1400.
- ・アリアドネ編『思考のためのインターネット—厳選サイト800』, 筑摩書房, 1999(ちくま新書) ¥660
- ・二木麻里, 中山元著『書くためのデジタル技法』筑摩書房, 2001.11
- ・津野海太郎, 二木麻里編『徹底活用「オンライン読書」の挑戦』晶文社, 2000.8
- ・岡本真『これからホームページをつくる研究者のために—ウェブから学術情報を発信する実践ガイド (ACADEMIC RESOURCE GUIDE)』築地書館, 2006. ¥2,940.

●情報探査論

- ・岡澤和世「情報行動研究のコンテキスト」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.16, p27-52 (2002)
- ・岡澤和世「情報ニーズの評価の必要性和問題点: D.Nicholas の論文を中心に」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.12, p43-65(1998)
- ・北原俊一, 安達一寿「自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発」, 『社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要)』, Vol.7 2003, p1-10.
- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント: インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局, 2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎—批判と再検討』改訂増補版, 共立出版, 1998
- ・福永智子「講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点: クールソを中心に」『館灯』41, 2003, p.1-6.
- ・渡辺智山「情報探査過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて—レファレンス・ブックを利用した探査過程の調査—」『情報の科学と技術』52(3), 107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン, 野島久雄訳『誰のためのデザイン? —認知科学者のデザイン原論—』新曜社, 3300 円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN, 2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密—マジカル・インストラクション』NTT出版, 1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社, 1990./『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム, 1984.

●Google

- ・安藤進『Google に聞け! 英語の疑問を瞬時に解決』丸善 2004.04, ¥1,470
- ・ケイズプロダクション『Google の秘密』ソフトマジック, 2003.11, ¥1,680
- ・タラ・カリシェイン; ラエル・ドーンフェスト『Google ポケットガイド』オライリー・ジャパン(オーム社) 2003.10, ¥1,260
- ・タラ・カリシェイン; ラエル・ドーンフェスト『Google hacks—プロが使うテクニック&ツール 100 選—』オライリー・ジャパン(オーム社), 2003.08, ¥3,045
- ・津田大介『ググる—検索エンジン Google を使ってネット上の情報を検索すること—』毎日コミュニケーションズ, 2004.04, ¥1,344
- ・水野貴明『Web 検索エンジン Google の謎—知りたいページが必ず上位にランクされるのは、なぜ?—』ソーテック社, 2004.04, ¥1,869

- ・山名 早人「見たいサイトが一発で出てくる検索エンジンの仕組みとは」『iINTERNET magazine』2004 年1月号(特集: Google 徹底解剖), pp.88-91

●論文作成

- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95 版人文系論文作法』夏目書房, 1998, ¥2857.
- ・山内志朗『ざりざり合格への論文マニュアル』平凡社, 2001.9
- ・澁谷恵宜『卒業論文』ラクラク基本マニュアル』クラブハウス, 2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室—レポートから卒論まで—』NHK出版, 2002.11, (NHK ブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社, 2002.4(講談社現代新書, 1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法—伝えたいことをどう書くか』中央公論社, 2002.10(中公新書, 1662)

●プレゼンテーション

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●パスファインダ

- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践 : 図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館, 発売: 紀伊国屋書店, 2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう: 情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会, 2005 (学校図書館入門シリーズ 12) 840 円
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10), 526-537 (2002)
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダー—次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』42, 2003, p35-46.
- ・河上純子, 仲尾正司, 仁上幸治 他「パスファインダーバンクの実用化に向けて—Web 版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案」(私立大学図書館協会東地区部会 館長会・研究講演会, 研究分科会報告大会記録 2001 年度『私立大学図書館協会会報』(通号 118) [2002.11])
- ・仲尾正司, 中村亜日香, 山田かおり, 他「パスファインダーバンク実用化とその経緯—Web 版共同利用ツールシステムを立ち上げて」『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.
- ・仁上幸治「電子パスファインダをどう作るか—情報探索支援ツールの企画から公開まで—」『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他「教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開—東京学芸大学附属図書館における教育情報ポータルサイト「E-TOPIA」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.

●講習会

- ・梅原由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス—OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館 —ニューヨークからの報告—』岩波書店, 2003. (新赤版 837)
- ・牟田静香『人が集まる! 行列ができる! 講座、イベントの作り方』講談社, 2007.4. ¥840 (講談社+α 新書 334-1C)
- ・米澤 誠 ; 阪脇 孝子 ; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施: 東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

●学習法・指導法

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)
- ・畑村洋太郎『失敗学』事件簿—あの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006 (PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

- ・仁上幸治『「図書館の達人」から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで』『館灯』41, 2003.3, p.39-52.

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11,pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8.1993.8,pp.553-556.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3

■資料2： 参考サイト

【1】情報探索3大ポータルサイト

- 1)野口悠紀雄オンライン：<http://www.noguchi.co.jp/>
- 2)アリアドネ：<http://ariadne.ne.jp/>
- 3)実践女子大学図書館リンク集：<http://www.jissen.ac.jp/library/>

【2】Google 関連サイト

- 1)実験室：Google のプロトタイプ：<http://labs.google.com/>
- 2)soople：Google 専用コマンド不要の検索フォーム：<http://www.soople.com/>
換算電卓機能：http://www.soople.com/soople_intcalchome.php
- 3)Google Hacks: Google メニュー検索：<http://dicwizard.jp/jamming/search.php>
- 4)GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索
<http://www.staggenation.com/cgi-bin/gaps.cgi>
- 5)Google 関連メーリングリスト
 - ・Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>
 - ・googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

【3】Google 以外の主要な検索サイト

- 1)AlltheWeb：<http://www.alltheweb.com/>
ノルウェーのFast社開発
- 2)AltaVista: <http://www.altavista.com/>
1995年12月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999年から画像検索も。
- 3)AAA!Cafe: <http://aaacafe.ne.jp>
部分文字列検索が可能な「Nグラム」方式

【4】検索サイトの最新情報

- 1)SEMリサーチ：検索エンジンの最新情報ポータルサイト
<http://www.sem-research.jp/sem/>
- 2)Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ
<http://searchengineshowdown.com>
- 3)検索エンジンの検索：世界中の検索エンジンを探す検索エンジン
<http://www.searchenginecolossus.com/>
- 4)shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニック」
<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

【5】パスファインダ

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク：
<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>
- ・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム：
http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html
- ・愛知淑徳大学図書館パスファインダー：
http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html
- ・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI): <http://dublincore.org/>
- ・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>
- ・情報科学技術協会：<http://www.infosta.or.jp/>
- ・電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/>

【6】教材サイト

- ・TOSS インターネットランド : <http://www.tos-land.net/index2.php>
- ・世界の指導案 : <http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>
- ・教育情報ナショナルセンター : <http://www.nicer.go.jp/>
- ・EDUREF : <http://www.eduref.org/>
- ・Library Explorer : <http://explorer.lib.uiowa.edu/>
- ・Internet Public Library : <http://www.ipl.org/>
University of Michigan School of Information. >> Pathfinders
- ・WARP (Web Archiving Project) : 国会図書館インターネット資源選択的蓄積実験事業 :
<http://warp.ndl.go.jp/>

【7】講習会教材公開の先進事例

- ・愛知淑徳大学図書館<パスファインダー> : <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/>
- ・京都大学図書館<全学共通科目「情報探索入門」> : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/homejm.html>
- ・九州大学図書館<情報リテラシー学習支援> : <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>
- ・東京大学図書館<ネットでアカデミック on Web> : <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>
- ・東京工業大学図書館<講習会案内> : <http://www.libra.titech.ac.jp/>
- ・東京学芸大学図書館<講習会情報> : <http://library.u-gakugei.ac.jp/>
- ・京都精華大学情報館<マルチメディア講演会> : <http://www.kyoto-seika.ac.jp/johokan/>
- ・日本女子大学図書館<利用案内>[eラーニング] : <http://www.lib.jwu.ac.jp/>
- ・東北大学図書館<情報探索の基礎知識> : <http://www.library.tohoku.ac.jp/>

【8】教育用データベース提供

- ・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版,2005.3. <http://www.dpc.or.jp/>
授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。

【9】画像ネタの宝庫

- ・American Library Association : <http://www.ala.org/>

【10】使えるフリーソフト

- ・Google バック StarSuite:ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション、その他:<http://www.google.com/>
- ・OpenOffice : プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト Sun Microsystems Inc. :
<http://www.openoffice.org/>
- ・PrimoPDF 日本語版 : PDF 形式変換ソフト :
<http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/index.html>
- ・データ便 : ファイル無料転送サービス :
<http://www.datadeliver.net/;jsessionid=F1E76C4679EA19A3BFFB16F1AC402C14.t2>
- ・アンケート君 : アンケート集計ソフト :
<http://www.vector.co.jp/soft/win95/business/se159548.html>
- ・富士通アクセシビリティ・アシスタンス : ウェブ診断ソフト :
<http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/assistance/>

■資料3 : 講師紹介 (最近の活動から)

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 早稲田大学図書館司書/東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書講習非常勤講師

◎ホームページ : <http://www.dcms.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/>◎電子メール : nikamikoji@yahoo.co.jp

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表 : <http://tosaken.blogspot.com/> ★ML 会員募集中!

◎論文・記事(単著)

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを！ー市民の情報リテラシーと社会教育ー」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとプランニング・プロセス論ー経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入ー」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いノリと少しの勇気ー利用者満足度調査は自信と希望の証ー」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで』『館灯』41, 2003.3,p.39-52. (同誌ホームページ掲載)

- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札ー情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告ー」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊)vol.1, 2003年度, 2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない?ー困った利用者よりずっと困った問題群ー」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革ー専門職崩壊のデフレスパイラルー」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ!ー素敵な印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法ー印象づけを重視した構成・演出の改善の試みー」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集:情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略ー司書職の専門性をどう訴求するかー」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) pp.310-317.
- ・「電子パスファインダーをどう作るかー情報探索支援ツールの企画から公開までー」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

◎単行書(共著)

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』日本図書館協会発売, 2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会, 2005.6(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)[シリーズ第2期8, 2008.1.31]

◎教材ツール開発(企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会:共同制作ポスター・葉・掲示用紙・ブックカバー, 1984-
- ・日本図書館協会:「コニーちゃん」ポスター・葉・掲示用紙, 1998-99.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会:「りてらしい」グッズ(T シャツ, トレーナ, キャップ, バッグ, エプロン, ブックカバー)2002-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1992.10, 1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1998.3, 2002.11.
- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』DVD版全3巻, 紀伊国屋書店, 2007.2.28. (ビデオ・スライド・テキスト・ウェブ資料のパッケージ)
- ・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

◎最近の講演・発表等

2000-03

- ・東京女性財団「女性問題トレーナー養成講座」:講義「広報活動をどう活性化するかー効果的な情報発信のためにー」/演習「すぐできる紙面改善ー読ませる見出し・レイアウト入門ー」2000.12.東京ウイメンズプラザ
- ・神奈川県女性行政推進者養成研修講座:講義「視線のコントローラーー快感と興味への意図的な訴求ー」/演習「すぐできるチラシづくりー惹きつける見出し・レイアウト入門ー」2001.2.神奈川県女性センター
- ・大学図書館研究会:発表「ホームページ上に「万能道具箱」を!ー情報リテラシー支援装置としての上部団体の役割ー」2001.9.一橋大学
- ・越谷市男女共同参画支援センター「情報活用ステップアップ講座ーIT講習から一歩前進ー」:ワークショップ「チラシ・ニューズレターの効果的な発信ー読ませる見出し・レイアウトー効果的な情報発信のしかた」2001.9.同センター
- ・ブレインテックユーザー研究会:講演「情報リテラシー支援による図書館のイメージ革新ー利用者の自立が図書館員の専門性を高めるー」2001.10.虎ノ門パストラル
- ・私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会第7回相互協力実務担当者研修会「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』までー」2002.8.1.中京大学
- ・日本図書館協会シンポジウム:報告「利用教育ビデオ教材の現状と課題ー達人シリーズが切り拓いたものー」2003.3.20(「利用教育の昨日・今日・明日」)日本図書館協会
- ・看護図書館協議会利用教育研究グループワークショップ「誰でもすぐできるパスファインダー作成法ー日常業務の中で手軽に作るための6つの極意ー」2002.8.3.日本医科大学図書館
- ・北海道地区私立大学図書館協議会 2003年度第1回業務研究会 講演「教育支援サービスと新しい図書館員像ー『図書館利用教育ハンドブック』が描く指導専門職ー」2003.7.18 札幌大学
- ・群馬県大学図書館協議会大学図書館研究会:講演「広報イメージ戦略と新しい図書館員像ー専門的指導サービスをどう印象づけるかー」2003.9.26 高崎商科大学
- ・図書館総合展「図書館員のための指導サービス実践講座ー新しい専門性を印象づけるプレゼンテーション事例ー」2003.11.4 東京国際フォーラム

2004

- ・日本図書館協会フライデーナイトセミナー第1回「図書館員のための指導サービス実践講座【パート2】ープレゼンテーションの実演と討論ー」2004.2.20 日本図書館協会
- ・鶴見大学 T.U.L.A(Tsurumi University Librarians Association)研修会 講演「図書館員のための利用指導サービスのポイントープレゼンテーションの実演と討論ー」2004.7.10. 鶴見大学図書館AVホール

- ・東北地区図書館協議会合同研修会「大学図書館における利用者教育と利用促進」基調講演「利用指導サービスと広報戦略—専門性を訴求する取り組みのポイント—」2004.7.30 岩手大学情報メディアセンター図書館
- ・私立短期大学図書館協議会全国研修会：講義と演習「指導サービスの組織化と指導プログラム・教材の作成」2004.8.26-27, 北海道武蔵女子短期大学
- ・群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会：講演「パスファインダー超簡単作成法—日常業務の中で作るための7つのステップ—」2004.9.8, 放送大学群馬学習センター
- ・埼玉高校図書館研究会司書部会研究集会：講演「情報メディアの活用をどう支援するか—学校図書館司書による指導サービスのポイント—」2004.11.24, さいたま文学館(桶川市)

2005

- ・2005.1.20/1.28: NII 学術情報リテラシー教育担当者研修：講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」大阪大学/国立情報学研究所
- ・2005.5.27: 日本図書館協会フライデーナイトセミナー第5回：講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」日本図書館協会
- ・2005.10.10: はんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開ける—ポスターからパスファインダーまで—」駿河台大学
- ・2005.11.1/11.17: 学術情報リテラシー教育担当者研修「学術情報リテラシー教育における広報戦略」国立情報学研究所/大阪大学
- ・2005.11.15: 医学図書館研究会・継続教育コース「新しいオリエンテーション技法—利用者をひきつける構成と演出」東京歯科大学
- ・2005.11.17: 近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」@大阪大学
- ・2005.12.7: 文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修「情報活用支援サービスの最新技法」福井県立図書館

2006

- ・2006.03.18: 日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.14: 紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命—第一印象はオリエンテーションで決まる—」紀伊國屋書店本社会議室
- ・2006.11.16: 兵庫県立大学図書館協議会「図書館広報を再設計する—専門職として生き残るための5つの特効薬—」兵庫県立大学
- ・2006.11.22: 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)—専門分野別データベースの特徴を紹介する方法—」(日本図書館協会主催)パシフィコ横浜

2007

- ・2007.03.31-[発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討—情報探索支援システム設計のための概念モデル—」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01-[講演] 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル—専門性を訴求する5つのポイント—」科学未来館
- ・2007.07.10-[講習会] 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変える—『情報の達人』が切り拓いたもの—」熊本学園大学
- ・2007.09.21-[講演] 岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダーを作る(入門編)」岐阜県図書館
- ・2007.10.18-[講演] 専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル—専門性を訴求する5つのポイント—」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える!—イメージ戦略の先進事例—」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30~12:00 第3会場
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)—データベースの特徴をどう紹介するか—」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場
- ・2007.11.21-[講演] 大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信—ホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?—」大阪市立大学学術情報総合センター
- ・2007.12.04-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けて—講習会の刷新とオンデマンド教材の開発—」名古屋ガーデンパレス

2008

- ・2008.02.06-[講演] 千葉県立中央図書館平成19年度レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)「パスファインダー超簡単講座—新しい案内ツールをどう作るか—」千葉県総合教育センター
- ・2008.03.01-[講演] 三島市立図書館平成19年度図書館講座「目からウロコの《超簡単》情報活用講座—人に伝える・人と繋がる・人と学ぶ—」三島市立図書館

* 講演予定

- ・2008.03.16-[講演] 日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第11回)「利用者はなぜ論文検索ができないのか—躓かせないための4つの指導ポイント—」キャンパスプラザ京都

★著作と講演のリスト(一部は論文全文掲載)や関連資料はホームページ参照。

以上 ■ □ ■ (配付資料/2008.2.25作成)